

# 日本災害看護学会先遣隊 令和6年能登半島地震活動報告

2024年1月22日(月)

活動隊員：網木政江、福島芳子

## 1. 活動日時

令和6年1月22日(日) 0:00~24:00

## 2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校 (避難者 46名)

## 3. 被害状況 (消防庁：1月22日 14時現在)

人的被害：石川県死者 232人 (うち珠洲市 99人)

住家被害：建物全壊 80棟、半壊 1,154棟、一部損壊 11,802棟

床上浸水 6棟、床下浸水 19棟

## 4. 天候 雨 最高気温 9.5℃ 最低気温 4.3℃ (避難所内 気温 21.1℃、55%)

## 5. 活動の実際

00:00 避難所内巡視

05:00 トイレ清掃・トイレ物品補充

06:00 避難所内巡視、Hot おしぼり配布

06:30 体調不良者 (嘔吐・下血) 救急搬送対応 (感染隔離エリア)

珠洲市総合病院から富山県内の医療機関へ Dr.へりで搬送され入院

07:20 【避難所スタッフミーティング (珠洲市立大谷小中学校)】

参加者：避難所リーダー、千葉県職員 4名、日本災害看護学会 2名、珠洲市消防署大谷分団 1名

08:00 【珠洲市保健医療福祉調整本部ミーティング (Zoom 参加)】

08:45 避難所エリア使用状況 (人数) の確認

09:00 感染療養解除者、要観察者の体調確認

09:30 換気・ストレッチ体操指導

10:30 交代で昼休憩

11:45 要観察者の体調確認

12:00 トイレ清掃・トイレ物品補充

12:15 珠洲市総合病院入院患者退院後受け入れ対応

・DMATにて医療機関から避難所へ搬送

・処方薬希望者の処方を届けていただいた

13:00 避難所内巡視

14:00 感染隔離部屋利用者退出後清掃・消毒

14:15 体育館内の避難者健康確認、バイタル測定、相談対応、診察・処方希望調査

15:00 避難所エリア使用状況 (人数) の確認

15:30 換気・ストレッチ体操指導

16:00 トイレ清掃・トイレ物品補充、利用可能トイレ集約調整

17:00 感染者への食事の配膳、回収

17:00 【珠洲市保健医療福祉調整本部ミーティング (Zoom 参加)】

<情報共有>

・本日より、歯科医師会巡回チーム (岐阜・広島・和歌山) が入る予定

・デーサービス (スマイル珠洲) 再開準備完了

水は井戸水利用

・雪の影響による会議時間の変更 (1/23 16時～、1/24 9時～)

<本チームより>

・珠洲市総合病院から富山県内医療機関に搬送された避難者 1名

- ・ 珠洲市総合病院から退院し、DMAT 搬送にて避難所に戻った避難者 1 名
  - ・ 1/22 感染療養解除者 15 名、1/23 感染療養解除予定 3 名
- 19:00 【避難所スタッフミーティング（珠洲市立大谷小中学校）】
- 参加者：避難所リーダー、千葉県職員 4 名、日本災害看護学会 2 名、珠洲市消防署大谷分団 1 名
- ・ 避難所内 51 名（昨日 59 名）うち、22 名（感染隔離・PET 同室・個室要支援者）
  - ・ 明日 1/23 より自衛隊食事提供（12 時、18 時）開始。消防署担当者が受領に行く。朝食は 8 時に避難所ボランティアが提供
  - ・ 避難所内で 2 次避難希望者 25 名
  - ・ 今週、ポータブルシャワー設置予定。入浴困難な要観察者に、清潔ケアをすすめていく。
  - ・ トイレスリッパ準備、ドアノブの消毒を定期的に行う
- 20:00 避難所内巡視
- ・ 要観察者 1 名対応。夕食摂取できておらず、口腔ケア実施し、飲水促す。本部長に情報共有。
- 21:00 消灯
- 夜間シフト体制
- |       |              |                          |
|-------|--------------|--------------------------|
| 看護師   | A：21:00～1:00 | B：4:00～7:00              |
| 千葉県職員 | A：20:00～4:00 | B：00:00～4:00 C：4:00～7:00 |

## 6. 考察

本日、感染療養解除者 15 名にて、感染者は 3 名のみとなった。隔離のためしばらく会えなかった避難者同士が久しぶりに会話を楽しむ姿が見られた。一方で、独居高齢者の方が、二次避難所へ一緒に行く予定にしていた同じ地区の人と離ればなれになり、孤立・孤独感を抱いているケースもあった。本日は二次避難所の申し込み最終日であり、新規希望者 25 名となった。珠洲市に残る意思を示した方は勤務の都合が多かったという報告があったが、残る意思決定をされた方の中には、“自分たちで決めたことだが、自分たちが残ることでお世話をしてくださっている人に迷惑をかけてしまうことになる。これでよかったのか”と、自問自答の日々を送られている方もいる。支援に入って 2 日目、避難者の方との関係性も築けてきたため、引き続き傾聴の時間を設け、健康状態や家族背景、ご本人の意向等を尊重し、調整役である避難所本部長に相談の上、支援を進めていきたい。

身体面では、避難生活の長期化に伴う持病の悪化に注意が必要である。認知症の進行、下腿うっ滞性皮膚炎の再燃（1/20～1/22 入院）がみられ、本日は、78 歳男性を救急搬送する事案があった。嘔吐、タール便、冷汗の症状から、上部消化管出血が疑われた。二次避難所、1.5 次避難所への移動は進みつつあるが、避難所生活が 3 週間となり、持病のある高齢者にとって身体的・精神的負担の大きい状態が続いている。あらためて災害関連死の予防を念頭にケアしていくことが重要と考える。高齢者は急変の可能性があり、明日から積雪のため救急搬送も困難となることが予想されているため、巡回時の観察に注意し、異常の早期発見に努めたい。

## 7. 参考写真



DVD を見ながらストレッチ体操



ボランティアさんが作った昼食